

編集後記

(一社)建設コンサルタンツ協会加盟企業の技術力向上、技術交流、技術者の能力向上を目的に開催されてきた近畿支部主催の研究発表会は、今年度で56回目を迎えました。

今年度の研究発表会は、コロナ禍の終息に伴い、大阪科学技術センターにおいて全面集合形式で開催することが出来ました。また、今年度の目玉企画の一つとして、土木学会関西支部と連携し、ポスター発表のコラボレーションを実現できました。

土木学会関西支部主催の関西土木工学交流発表会との共同開催(場所:インテックス大阪)で実施した「ポスター発表」は、入社4年目までの若手技術者から39編の応募がありました。来場した学生に建設コンサルタントの仕事内容を理解して頂くよい機会になったと考えます。

「一般論文発表」は、53編の応募があり、聴講者入場のもと、熱のこもったプレゼンテーションが繰り広げられました。なお、審査は、昨年度と同様、Google Formsを活用した方法を採用することで、審査・採点及び集計時間の短縮を実現できました。

3年ぶりに再開した「学生発表」は、当初どのくらいの論文が集まるのか不安もありましたが、ふたを開けてみると過去最多の14編の応募を頂きました。発表会当日は同行者を含め多くの学生に来場して頂きましたが、建設コンサルタントに興味・関心がある学生にとっては、各社の現役技術者と交流できる貴重な機会になったと考えます。

「特別講演」は、大ホールにおいて、大阪公立大学の嘉名光市教授より“大阪・関西万博を契機としたまちづくり～御堂筋を中心として～”、国土交通省近畿地方整備局技術調整管理官 田中徹氏からは“建設コンサルタントをとりまく現状”と題して、貴重なご講演をいただきました。多くの聴講者が熱心に聞き入る姿が見受けられました。

「建コン近畿支部委員会主催の報告会やワークショップ等」は、社会資産共有委員会、環境安全委員会、BCP委員会、ICT研究委員会、道路研究委員会、インフラメンテナンス研究委員会、河川研究委員会、働き方研究委員会、魅力発信委員会、高速道路委員会阪神高速WGの参加のもと、実施することができ、研究発表会にも賑わい、活気が戻ってまいりました。

来年度は、これまでの経験や積み上げてきた実績などを活かしつつ、建設コンサルタントの魅力を広く発信する新たな取り組みを積極的に取り入れて、「第57回研究発表会」を開催したいと考えております。

最後に、本研究発表会の開催にあたり、論文発表者や特別講演者の皆様には、貴重な時間を割いて原稿の作成、発表・講演等をいただきまして、厚くお礼申し上げます。また、研究発表会を運営するに当たり、多大なるご支援、ご協力をいただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

令和5年度研究発表委員会
副委員長 近藤 浩治

<令和5年度研究発表委員会>

委員長：竹林 弘晃
副委員長：近藤 浩治
委員：阿部 正太朗(幹事)
委員：岩佐 潔則(副幹事)
委員：初本 奈緒子
委員：大永 夕陽
委員：市守 大介
委員：今田 真治
委員：山口 明日香
委員：松原 学
委員：平井 恒輔
委員：大藤 友貴
委員：岸本 猛
委員：岸上 直之

(令和5年9月現在)

委員：久野 憲太郎
委員：間 雅則
委員：丁子 信
委員：梅田 岳明
委員：村田 淳紀
委員：中村 則信
委員：三隅 文彦
委員：水野 伸一
委員：畑中 隆宏
委員：神原 明宏
委員：間口 暢之
委員：中島 徳仁
委員：横山 宗一郎